

一つになって真の父母様に勝利をお捧げしよう

「2017 新春全国牧会者研修会」開催

3月2、3の両日、宮崎台国際研修センター（川崎市）で「2017 新春全国牧会者研修会」が開催され、全国の牧会者、本部責任者、統一運動諸団体のリーダーなど約400人が参加しました。参加者一人ひとりが真のお母様の心情、事情、願いを胸に刻みながら、お母様に喜びと勝利をお返していくことを決意する時間となりました。

2日午前、李成萬^{イソンマン}本部長の司会で始まった研修会は、田中富広副会長の代表報告祈禱、真のお母様のみ言映像に続いて、徳野英治会長がこの度の人事異動と組織改編の目的を説明。救国救世基盤の造成にさらに注力していくと共に、教会組織のスリム化を図り、神氏族メシヤ基盤の強化を行っていくと述べました。

また徳野会長は、このほど真のお母様を中心に天正宮博物館でユンノリ大会が行われた際、徳野会長が所属したチームが「ウリヌンハナダ（私たちは一つ）！」と唱えながら一体化し、劣勢を挽回して見事に優勝したエピソードを紹介。「お母様は表彰式の時、『ウリヌンハナダと叫んでいたね。やはりその言葉は効果があるんだね』としみじみと語られました。私はそこで『一つになれば何でもできる。一つになればどんな難しいことも解決できる。一つになればお母様の願いも必ず成し遂げることができる』と確信しました」と語り、「ウリヌンハナダ」の精神で新しい日本をつくりあげていきたいと思いますと呼び掛けました。

午後は、宋龍天^{ソンヨンチョン}・全国祝福家庭総連合会総会長が、VISION2020 勝利に向けた2017年の日本の戦略を発表。「これからの3年路程を出発するこの瞬間、私たちが真の父母様と一つとなって行くなれば、絶対に成せないことはありません。今までのVISION2020 勝利に向けたすべてのビジョン、戦略、方向性は、天の父母様の摂理の方向性と1度のズレもなく、私たちは共に前進していることは間違いありません」と強調しました。

引き続き、本部各局から目標と戦略の発表が行われ、現場からは二世圏祝福と食口再復帰の成功事例



左から徳野英治会長、
宋龍天総会長、
李海玉総会長夫人

が報告されました。

2日目は、まず徳野会長と李海玉^{イヘオク}総会長夫人が講話を行い、牧会者が今この時に肝に銘じておくべき事柄を様々な観点から説明しました。

ここでは、李海玉総会長夫人の講話の一部を紹介します。

「新世界」が開かれる結実のとき、私たちが最も恐れ、気を付けるべきことは、私の心を誰に差し出すかです。

私たち公職者の心の主人が天の父母様でないならば、私たちは悲惨な一人ひとりです。

天の父母様から離れた瞬間、（教会組織は）ほこり

のように飛び散ってしまうでしょう。私たちがどれほど素晴らしい戦略を立て、システムを構築したとしても、私たちの心の中心を守り抜くことができなかったならば、消えてなくなるのです。

天の父母様以外に私たちの心の主人はいません。『真の父母理想』以外に、この世のどんなものも私たちの永生に責任を持つみ言は存在しないのです。

私たちの心の奥深くに天の父母様が主人としておられ、私たちが天の父母様に似るのだと一瞬一瞬に努力を傾けていくとき、私たちの心を支配してきた多くの心配、悲しさ、辛さは消え去っていきます。

私たちは見つめるべきところを正しく見つめま

しょう。他のところを見つめるならば、転んでしまいます。難しい問題が多くあったとしても、私たちが役事して導かれる天の父母様を1000%信じて歩んで行くとき、天が責任をもって導いて下さると私は信じています」

引き続き、宋総会長が家庭連合時代における公職者の姿勢について約1時間にわたって解説しました（3面に掲載）。

地区別のミーティングの後、午後からは「出発式」で全11地区がそれぞれ決意表明と趣向を凝らしたパフォーマンスを行い、研修会は閉幕しました。

“天一国を創建する家庭連合の真の公職者”

宋龍天総会長のメッセージ

以下のメッセージは、宋龍天総会長が3月3日、宮崎台国際研修センター（川崎市）で行われた「2017新春全国牧会者研修会」で語った内容を翻訳し、一部抜粋したものです。



「影のない正午定着の人生」を生きるリーダーは人格的心情な指導者です。そして、「発光体となって、光を与える人生」を生きるリーダーは摂理的な指導者です。このように摂理的、人格的および心情な指導者になって、「かわいそうな貧しい人の涙を拭いて、暗い所を照らす永遠の真の愛の発光体となった人生」を生きる皆さんになってほしいと天は願われています。

そして真のお母様のみ言のように「父母様が地上に生きている時に、最善を尽くした孝子、孝女たる称号を受け、天一国時代の名門家、父母様と一直線上のすべての事に勝利をもたらすことができる皆さんになってください」という懇切な真のお母様の願いを胸深く刻まなければなりません。

皆さんがこれから摂理的な指導者、人格的な指導者と心情な指導者になって家庭連合と日本社会を導く指導者になれば、これこそ天の父母様と真の父母様が望んでおられる夢を実体的に行う公職者となるものであり、このような公職者こそ、全人類が望む真の指導者像になります。今この瞬間、皆さんが家庭連合の摂理的、人格的、心情な指導者になるという夢を抱くようになるとき、天の父母様と真の父母様も皆さんに対して新しい希望を抱くようになるはずであり、皆さんの位置も今後無限に祝福され、皆さんを必ずそのようなリーダーとして導いて下さることを、私は絶対的に信じています。

このように、家庭連合のすべての公職者たちが摂理的であ

り、人格的であり、心情的な指導者となって、今後天一国の指導者になれば、このような天一国では、様々な信仰形態や思想、哲学を持っている人々がお互いに共に並ばないでしょうか？そして不確実な時代に生きている多くの日本の人々は、確かな摂理的ビジョンを提示する皆さんと共にするために、手を差し伸べるでしょう。そうならば、世界とアジアと日本が抱えている問題は必ず解決されるのであり、このように世界を一つに結ぶ真の指導者こそ、すなわち天の父母様と天地人真の父母様が望まれる天一国、「天の父母様の下の人類一家族」を導いて行く真の家庭連合の公職者です。

だから今から、天一国の真の公職者になるためには、必ず真の父母様が導いて行かれる摂理をもっと知るために努力しなければならず、自分の考えと言行を常に自らの良心に尋ねて考え、話し、行動する公職者でなければならず、他人を先に考えて、相手の立場ですべてのことを最初に考慮して、すべての人を抱くことができる公職者となるべきでしょう。

皆さんが、このような家庭連合の摂理的であり、人格的であり、心情的な指導者になるという覚悟と決意を持つならば、天の父母様、そして真の父母様の祝福と導きが、いつも皆さんと共にあるでしょう。



宋総会長の講話を聴く牧会者たち

宋総会長ご夫妻が宮城、福島教区を訪問

東日本大震災 6周年で特別礼拝



①メッセージを語る宋総会長（郡山家庭教会）②李海玉総会長夫人は青年学生と交流（宮城教区）③青葉城を訪れた宋総会長ご一行（仙台市）④JR郡山駅に見送りに来た地元食口と共に

3・11 東日本大震災 6周年を目前に控えた3月5～6日、宋龍天総会長ご夫妻を迎えて宮城、福島両教区で特別礼拝・集会が行われました。

5日には宮城教区仙台家庭教会で、東日本大震災 6周年追悼と新体制出発のための特別礼拝が行われ、300人以上が参加しました。

聖歌隊が復興支援ソング「花は咲く」と真の父母様の孝心を相続する「孝心」などを讃美した後、宮城県だけで1万人以上に上る震災犠牲者への追悼の思いを込めた手紙が読み上げられ、全体で黙祷を捧げました。

代表報告祈禱、趙成旭第2地区長の挨拶、花束贈呈に続き、李海玉総会長夫人が「(仙台に向かう新幹線がトンネルを通ったときに) 第2地区はトンネルを通過したという啓示を受けました。たとえ今トンネルの中にも、抜け出すことができます。真の父母様と共

に感謝していくならば、私たちはもう一度美しい太陽を見ることができるのです」と語りました。

宋総会長は説教の中で、全国が新しい体制となり、VISION2020に向かう3年路程を出発する大切な期間であることを強調。その上で①真のお父様の聖和以降の真のお母様を中心とした摂理②2016年の活動内容③2017年の戦略④2017年の実践的内容——の4つの内容を中心にメッセージを語りました。

礼拝が終わり、宋総会長ご夫妻は宮城教区の牧会者や婦人代表、スタッフと食事を共にした後、真のお父様が52年前に決定された青葉城の聖地で祈禱する時間を待ちました。

翌6日午前、宋総会長ご夫妻は福島教区郡山家庭教会を訪問。集まった多くの食口たちに大きな天運と真の父母様の“香り”を届けました。

“真の父母様の心情に寄り添う子女となろう”

徳野会長ご夫妻が第3、第4、第10地区などを訪問

徳野英治会長は3月前半、第3（北関東）、第4（南関東）、第10（四国）各地区のほか、西東京教区などを訪れ、出発式や特別集会でメッセージを語り、各地の教会員を激励しました。その中から、第4地区の「出発礼拝」の様子を紹介します。



- ①説教を行う徳野会長（第4地区「出発礼拝」）
- ②挨拶する徳野久江会長夫人（同）
- ③パフォーマンスを行う第4地区の牧会者
- ④参加者全員で「ウリヌンハナダ」をコール（第3地区「出発式」）



3月5日、千葉・浦安の一心特別教育院に徳野会長ご夫妻を迎えて、「2017年度第4地区出発礼拝」が行われました。2月末の全国的な組織再編と人事異動の後、はじめて第4地区（神奈川、千葉、山梨）の5教区29教会から、刑部徹地区長を中心として牧会者、婦人代表、中心食口が一堂に会し、第4地区の実質的な出発の時間となりました。

刑部地区長の就任挨拶、真のお母様のみ言映像の上映、花束贈呈に続いて、徳野久江会長夫人が登壇。2月の真のお母様の御聖誕及び基元節4周年の記念行事において、お母様がどれほどの精誠を尽くされたのかを証しました。

続いて徳野会長が説教の中で、今回の組織再編の意義と人事異動に関し、聖書の「ヨブ記」を例にあげながら、

「人事は天事であり、いつも導かれます。また人事によって信仰と人格の訓練が行われるのです」などと説明。

また分派問題に触れ、「最終的な善悪の判断基準は、真の父母様の心情、事情、願いにかなっているかどうかです」と強調した上で、「真のお母様との心情的な距離が重要です。真のご子女様の中で、特に文善進様や文妍嬢様がお母様の心情に寄り添おうと努力しておられる姿に希望を感じています」と述べました。

引き続き、東・西神奈川、南・北千葉、山梨の各教区長が、各教会の牧会者を紹介。刑部地区長を中心とした牧会者全員によるパフォーマンスで全体の心情が一つに。

徳野会長の祝祷の後、五十嵐正彦南千葉教区長の発声で億万歳を行い、参加者は天に喜びを捧げる2017年とすることを決意し、出発していきました。

救国救世に向けて、二世圏の活性化を推進

「全国成和青年・成和学生教育者研修会」開催



- ①開会式の後で記念撮影
- ②講義を聴く参加者
- ③ディスカッションを行う成和学生部長たち

「孝情体恤を成し、救国救世の旗手となろう！」のローガンのもと、「2017年全国成和青年・成和学生教育者研修会」が3月6～9日、宮崎台国際研修センター（川崎市）で開催されました。最初に中高生教育に携わる成和学生部長の研修会が2泊3日で行われ、続いて大学生・青年教育に携わる成和青年部長の研修会が1泊2日で行われました。

まず、全国から成和学生部長106人が集い、徳野英治会長を迎えて開会式が行われました。

その中で徳野会長は、「真のお母様との心情的な一体化が重要です。“ウリヌンハナダ（私たちは一つ）”の精神で教育者が一つになってください」と参加者を激励。続いて、竹内啓晃・新青年学生局長が就任の挨拶を行いました。

成和学生部長の研修会では、中高生に対する教育の整理と改革を目指す「成和学生基礎教育」と、純潔教育と親子プログラムを推進する「祝福準備教育」についての説明とディスカッションが行われました。

8日からは、全国の成和青年部長の研修会が行われ、

122人が参加しました。開会式で宋総会長は、2016年度の活動の総括をした上で、2017年度の戦略について熱く語りました。この研修会では、田中富広副会長が二世圏活性化の戦略を発表。大きな戦略として次世代の人材育成を柱に、救国救世を目指す伝道と伝道環境創造の推進について説明しました。

そのほか、佐野忠國成和大学生部長と今井康勝・新成和青年部長が2017年度の成和青年圏の方針を発表し、青年学生圏の祝福と連結推進をテーマにディスカッションが行われました。

参加者からは、「青年学生局の方針の理解だけでなく、様々な取り組みをしている教区・教会の教育者と直接話し、学ぶことが多かったです」（成和学生部長・男性）、「救国救世を見据えての二世圏の始動という大きなうねりを感じました。新しい時代圏に沿った二世圏教育、社会を変革できる青年を育てていくために新たに決意をしました」（成和青年部長・男性）といった感想が聞かれました。

“孝情”の光、全世界の希望となれ

竹内青年学生局長に聞く

2月16日から25日まで、韓国・清平で「真の父母様主管 HJ天苑 特別修練 Japan TOP GUN College」(JTGC)が開催され、日本の大学生圏のメンバー約1200人が参加しました。竹内啓晃青年学生局長に今回の修練会の目的などについて語っていただきました。



竹内啓晃青年学生局長

—JTGC が開催されるようになった背景は？

真の父母様が未来人材育成に大きな期待と関心を寄せて下さっていることこそ大きな背景ではありますが、日本においては、特に中高大学生圏の二世がピークを迎えています。出生ベースでは、高校生から大学生にかけての年代で、1学年2000～3000人に上っています。この世代の二世圏に対する取り組みが日本統一運動の未来を左右するという位の深刻な認識の中で開催されました。

—「真の父母様主管」の修練会でした。

HJ天苑、まさに真の父母様の愛に包まれる環境圏で修練会が開催されました。

開会式では、父母様を代身して文善進世界会長ご夫妻をお迎えしました。質疑応答を通して、私たちが「孝情」をどのように体恤していかなければならないかについて、ご自身の歩みを例にとりながら率直に愛を持って指導して下さいました。私たちの先を歩み、真の父母様に対する孝情を立てておられる善進様ご夫妻と一つになることができた開会式を通じて、「真の父母様主管」であることを皆が理解しながら出発することができました。

—修練会ではどんなことを目標としましたか？

具体的には、「孝情の体恤」と「良心革命」を目指しました。

私たちが内的に立てるべき信仰の柱が「孝情の体恤」です。天の父母様の夢を果たそうとしてこられた真の父母様の願いと事情と心情を知り、それを体恤し、真の父母様の親孝行の伝統を相続していくことです。

修練会の前半、修練生たちは真の子どもの講話をはじめ、真の父母様の生涯路程の講義、生涯路程をなぞる讚美礼拝、真の父母様の血と汗と涙がしみ込んだ聖地を巡礼し、真の父母様が天の夢を成すためにどのように身悶

えていかれたのかを深く悟っていきました。

そうした土台の上で修練会の後半では、自らの良心を啓発して良心革命を起こし、自分たちが持っている内容を大学や地域社会の中でどのように実現していくのかを具体的に語り合い、目標を立てていきました。

—JTGC 修了者に期待することは？

JTGC を通過した大学生たちは、全体の代表として真の父母様から多くの愛を受け、孝情を体恤した立場です。まずは、同じ大学生圏に対して、学んだ内容を日々の信仰生活において実体で見せることのできる一人ひとりになってほしいです。

彼らが大学生のリーダーとして、高校生など後輩たちの良き兄・姉の立場に立ち、彼らの道しるべとなる。後輩たちは、先輩を追いかけながら、その先に真の父母様が見え、さらにその先に天の父母様の夢が見える——。孝情を体恤したリーダーとして、これからも主体的に歩んでいくことを願っています。

最後に、「孝情」正しく学び、体恤し、親孝行していくためには親の願いと事情と心情に対する理解が不可欠です。そのためにも、やはり父母様の語られる言語、韓国語の習得が重要であるということ強く感じました。

言葉の奥にある、心情世界を感じ取って差し上げることのできる孝子、孝女となることを目指して共に前進して参りましょう。

秋田で「親子セミナー」 「家庭力アップセミナー」

夫婦と家族について実践的に学ぶ

3月4、5の両日、秋田市内の会場で、多田聡夫講師を迎えて「親子セミナー」と「家庭力アップセミナー」が開かれました。

4日に行われた「第3回親子セミナー」には、秋田教区のみならず東京、宮城、青森から合わせて12組の親子が参加。「家族愛と伝統」「祝福結婚の考え方」の2つの講座を通して、参加した親たちは祝福二世の心の痛みに初めて触れ、親として至らなかった部分に気づかれました。

参加した親子は、自分たちの家庭が幸せになり、その幸せが何世代も続く家庭を築いていくことを改めて決意してスタートする恩恵深い時間となりました。

5日は、今年初めての「家庭力アップセミナー～夫婦の力、家族の秩序～」が開催されました。同セミナーには昨年、大小さまざまな規模で21回行われ、延べ800人が参加しています。

今回のセミナーには、大学名誉教授や市議会議員、首長夫人、会社社長夫妻などの有識者を含む120人（夫婦は27組）が参加。「夫をあるがままに受け入れ、長所のみ見つけていくとき、魔法にかかった様に夫婦愛が深まります」という多田講師のアドバイスに、参加者からは「是非きょうから実践したいです」といった感想が多く聞かれました。



①「親子セミナー」の参加者 ②「親子セミナー」の講義
③手を取り合って祈禱する親子 ④「家庭力アップセミナー」で講義を行う多田講師 ⑤「家庭力アップセミナー」で講義を聴く参加者

西東京教区で書写の集い

2月22日、東京都小平市内の会場で、西東京教区主催の「自叙伝書写感謝の集い」が行われ、新規のゲスト260人を含む1000人が集まりました。

3月5日には、杉並家庭教会で「第48回自叙伝書写感謝の集い」が開催され、礼拝堂とモニタールームで、新規95人を含む約400人が参加。書写会の後は、教会の駐車場で餅つき大会を行いました。

翌6日には武蔵野家庭教会でも書写会が行われ、新規17人を含む約160人が書写の恩恵を分かち合いました。



書写を奉納する参加者（西東京教区「自叙伝書写感謝の集い」）

会場で書写を行う参加者（同）



韓国・釜山教区の成和学生40人が来日

2月20日、南千葉、北千葉両教区と姉妹結縁を結んだ韓国・釜山教区の成和学生40人が来日したのに合わせ、千葉家庭教会で交流会が行われました。千葉家庭教会には約60人の教会員が集い、韓国

の学生たちを歌とギター演奏で迎えました。歓迎会後は、一心特別教育院（浦安市）で日本と韓国の学生が交流する時間が持たれました。



交流会に参加した日韓の青年学生



スマートフォンで記念撮影する日韓の女子学生

第8地区で「成和子女御聖誕記念孝情文化音楽祭」

2月26日、第8地区（旧第9地区）の「成和子女御聖誕記念孝情文化音楽祭」が、大阪家庭教会で行われました。

地区内の教会8チームがエントリーし、ダンスやハンドベル演奏、ピアノ演奏、天父報恩鼓、合唱などが披露されました。

小学生部門が中心の企画でしたが、中高生や青年の出演もあり、それぞれが“孝情”の心で精誠を尽くし、大きな拍手を浴びました。



合唱を行う小学生たち

歌と踊りで“孝情”を表現する子供たち



愛媛・松山家庭教会で既成祝福式

2月26日、愛媛教区松山家庭教会で、「愛媛2017天地人真の父母天宙既成祝福式」が行われ、既成祝福4組と独身祝福11人が参加。30年を経て夫を導いた婦人の証しに、喜びの和が広がりました。

祝祷を受ける参加カップル



祝福式で



鹿児島・霧島家庭教会でミニバザー

2月23日、鹿児島教区霧島家庭教会でミニバザーが開かれ、教会員と近隣住民との良き交流の場となりました。バザーの売り上げは被災地への支援金・義援金として役立てられます。



「北広島教区スポーツ交流会」

3月6日、広島県東広島市内の体育館で「北広島教区スポーツ交流会」が開かれました。参加したおよそ100人の青年と壮年・婦人が、バレーボールやバスケットボールのフリースロー、フットサルなどの競技を世代を越えて行い、ともに汗を流しました。教区全体が一つの“家族”であることを強く感じさせる交流会となりました。

